

令和7年度とよたシニアアカデミー通年コース

## 文化工芸学科 7月の講座風景

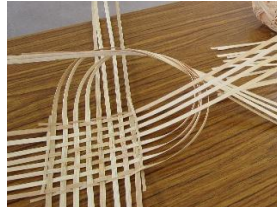
選択：竹工芸講座 4/21～6/23（全8回）



講師 鈴木脩希氏

四ツ目編み籠

⇒⇒⇒



六ツ目編み籠

⇒⇒⇒



### 【ふりかえりより】

- 一本の竹ひごを組み合わせて少しずつ編んでいく。手間はかかるが、素晴らしいものができる。日本の伝統工芸。編み方の種類が多いことにも驚きました。
- 籠を完成させることができて、とても嬉しいです。途中、間違えて切ってしまったところを先生が修復してくださいました。きっと昔から竹の製品は、直しながら長く使われる物だったのですね。一番のSDGsですね。

良いですね、ちゃんと編めていますよ

幅5ミリ、厚さ2ミリの竹ひご作りに挑戦中！

竹ひご作り

あともう少しでできますよ～



7月は、選択講座の中から既に終了した「竹工芸」と「木版画」を紹介します。竹工芸講座は、三州足助屋敷籠屋の見学から始まり、六ツ目編みと四ツ目編みの籠を作って、最終回では竹ひご作りにも挑戦しました。木版画講座では、4色刷りにチャレンジ！複雑な工程でしたが、「彫っていると、無心になれるよ」「刷り上がるまでドキドキ、わくわく…」と、楽しそうに取り組んでいました。

選択：木版画講座 5/9～6/20（全8回）



講師 加藤照子氏



版木に図案を転写



「見当」をつけて…

### ＜木版画 制作手順＞

① 図案を考える

② 版木に転写

③ 彫る

④ 刷る



集中力もピークに！どんどん彫り進めます



絵具を付けたら紙をあて、バレンでこすって出来上がり



### 【ふりかえりより】

- 年齢とともに集中力や根気が衰えてくるが、この木版画講座で彫刻刀を握っている間は、すべてを忘れ、一心に彫り続けている。まだまだ自分も捨てたものじゃないなと思える瞬間です。やっていて楽しい。また、やる気が出てきた。
- 木版画は、回を重ねる毎に楽しくなってきた引き込まれてしまいました。最終回では、皆さんの作品を見せ合いました。とても上手にできていて、機会があればまた木版画に挑戦してみたいです。

4色刷り木版画 皆さんの作品

